

1. 題材名「がん和健康」(高等学校・保健体育)

2. 目標

- ・「がん」について、関心をもち、学習活動にすすんで取り組もうとすることができるようにする。
- ・「がん」について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。
- ・「がん」について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活や社会のかかわりを理解することができるようにする。

3. 内容及び指導方針

(1)教材の位置づけ

本主題は、1～8を発展させた内容である。

「がん」の基礎的な内容を理解するだけでなく、一次予防（生活習慣の改善等）、二次予防（がん検診等）、三次予防（治療や緩和ケア等）といった段階に応じた個人の取組に役立てるための理解も必要である。また、健康と命の大切さやライフステージごとのがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるようにすることも視野に入れて教材を考えることが重要である。

(2)指導方針

小学校及び中学校での学習を踏まえて「がん」について正しく理解することを通して、自我の確立とともに個人にかかわる事柄のみでなく社会的な事象に対する興味・関心が広がり、自ら考え判断する能力なども身に付きつつあるという発達の段階を考慮する。その上で、個人生活や社会生活における「がん」に関する事柄に興味・関心を持ち、健康と命の大切さについて主体的に考えるとともに、科学的に思考・判断し、総合的にとらえることができるようにする。

4. 評価規準

ア 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・がんについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・がんについて、資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、整理したりするなどして、まとめた考えを説明している。	・がんについて正しく理解することができるようにすること、健康と命の大切さについて主体的にかんがえることができるようにすることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。

イ 単元の指導と評価の計画

※ a：関心・意欲・態度 b：思考・判断 c：知識・理解

時	学習内容	学習活動	ねらい	a	b	c	評価規準	評価方法
1	がんの種類と特徴について	○がんの種類と特徴について資料等で調べる。 調べ学習 ○がんの予防について、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり整理したりして発表する。	○がんには様々な種類があり、それぞれのがんの特徴を知ること、がんの予防を考える上で重要なことを理解できるようにする。		◎	◎	①「がん」の特徴について、資料からデータを読み取って分析し、筋道を立てて説明している。(思考・判断) ①「がん」の予防について正しく理解するとともに、健康と命の大切さについて理解したことを発言したり、書き出したりしている。(知識・理解)	観察 成果物 観察 成果物

2	<p>がんと共生する社会づくり</p> <p>○がん検診について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>ディスカッション</p> <p>○がんとう共生する社会づくりについて、発表を聴き、ワークシートにまとめ、理解する。</p>	<p>○がんとう共生する社会づくりに必要なことを、理解できるようにする。</p>	◎		<p>◎</p> <p>②がん検診についての知識を身に付け、課題解決に向けての話し合いなどの学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>①がんとう共生する社会づくりに必要なことについて、理解したことを発言したり記述したりしている。</p> <p>(知識・理解)</p>	<p>観察</p> <p>観察成果物</p>
---	--	--	---	--	---	------------------------

5. 展開例

(2時間扱いの1時間目)

	主な学習内容・学習活動	教材	指導上の留意点(教材の明記)
はじめ 10分	<p>1. 本時の学習内容を確認する。</p> <p>・「がん」は、日本人の死因の第一位であること、「がん」には、様々な種類があることを確認する。</p>	<p>P 3</p> <p>図 1</p> <p>表 1</p>	<p>○本時の学習内容へ興味・関心をもたせる。</p> <p>○図 1、表 1 を提示する。</p> <p>○日本人の 2 人に 1 人は、一生のうちに何らかの「がん」にかかるとう推定されていることを確認する。</p>
	<p>発問：日本人の死亡原因の第 1 位である「がん」には様々な種類があります。「がん」にはどのようなものがあるか、思いつくものをあげてみよう。</p>		
	<p>・「がん」の種類を、挙手で発表する。</p> <p>〈予想される回答〉</p> <p>・肺、胃、食道、大腸、等</p>	P 4	<p>○黒板に、人体イラストを掲示する。</p> <p>○思いつくままに発表してよいことを伝える。</p> <p>○発表された種類を、○で囲む。</p> <p>○「がん」は、発生する臓器等から名称が決められているが、白血病など「がん」という名称が用いられていない「がん」もあることを補足する。</p>
なか 35分	<p>発問：主な「がん」の特徴と、罹患数・死亡数の関係から、それぞれの「がん」の特徴について、話し合おう。</p>		
	<p>2. 提示された資料をもとに、それぞれの「がん」の特徴について、ワークシートにまとめる。</p> <p>・資料から読み取ったことを個人ワークシートに記入する。</p> <p>・個人ワークシートを持ち寄って、グループで話し合い、発表する。</p> <p>〈予想される回答〉</p> <p>・乳がんの罹患数と比較すると、死亡数が低下しているのは、自己チェックで早期発見しやすいから。</p>	<p>P 5</p> <p>表 1</p> <p>表 2</p> <p>図 2</p>	<p>○資料（表 1、2、図 2）を提示する。</p> <p>○罹患数と死亡数の関係に着目し、それぞれの「がん」の特徴を参考に考察することを伝え、難しい生徒には、着目する資料を指し示しながら、特徴に気付くよう助言する。</p> <p>○「がん」の特徴について、それぞれの資料から読み取ったことを比較したり、関連付けたりするなどして、分析した結果を説明するよう伝える。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・膵臓がんは罹患数と比較すると死亡数が高いので、膵臓がんは、治りにくい。 ・罹患数、死亡数ともに上位を占めるのは、生活習慣が原因で発症する肺がん、大腸がんである。等 ・他のグループの発表等を聞いて、気付いたことをワークシートにまとめる。 		<p>◆思考・判断</p> <p>「がん」の特徴について、資料からデータを読み取って分析し、筋道を立てて説明している。(観察・ワークシート)</p> <p>○多くの「がん」は早期に発見すれば約9割が治ることを押さえる。</p>
<p>発問： 「がん」を減らす方策について、様々な視点から考えてみよう。</p>			
	<p>3.「がん」を減らす方策について、様々な視点から、グループごとに話し合っ て、ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークシートに考えたことを記入する。 ・個人ワークシートを持ち寄って、グループで話し合い、意見を発表する。 <p>〈予想される回答〉</p> <p>(健康的な生活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙、節酒、運動、食生活、適正体重、睡眠、休養 等 <p>(検診)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単で正確な検診制度 <p>(医療環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がん」を治す薬の開発 ・「がん」にならない薬の開発 等 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な健康情報が氾濫する中、正しい情報を選択していく力を身につけていくことが必要であることを確認する。 	<p>P 6</p> <p>P 6 図 1</p> <p>P 7</p>	<p>○「がん」の原因は、生活習慣だけでなく、細菌ウイルス感染などがあり、特に日本では原因の上位に位置付いていることを補足する。</p> <p>○5つの健康習慣について確認する。(一次予防)</p> <p>○がんの感染対策は地域の保健所や医療機関で行われていることを説明する。(二次予防)</p> <p>○現在及び将来に直面する「がん」に関する課題に対して、自らの健康管理や健康的な生活行動をとるために、適切な思考・判断を行い、正しい情報を選択していくことが必要であることを説明する。</p>
まとめ 5分	<p>4.本時の振り返りをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習内容を確認する 		<p>○ワークシートに記入することにより、本時の学習内容を確認するよう促す。</p> <p>◆知識・理解</p> <p>「がん」の予防や健康と命の大切さについて理解したことを発言したり、書き出したりしている。(ワークシートの記述)</p> <p>○机間指導しながら、まとめができない生徒へ助言し、支援する。</p>

(2時間扱いの2時間目)

	主な学習内容・学習活動		指導上の留意点(教材の明記)
はじめ 10分	<p>1. 本時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返り：早期発見で約9割の「がん」は治るため、がん検診が推奨されていること。 	P 8	○本時の学習内容へ興味・関心をもたせる。
	<p>発問： もし、あなた自身が「がん」と診断されたとしたら、そのことを、知らせて欲しいと思いますか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「知らせて欲しい人」と「知らせて欲しくない人」のそれぞれの立場について、グループで話し合う。 ・話し合ったことを、発表する。 <p>〈予想される回答〉</p> <p>(知らせて欲しい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の寿命を知り、やりたいことをやりつくしたいから ・スーパードクターに手術してもらい、早く治したいから <p>(知らせて欲しくない)・怖いから</p> <p>(その他)・早期ならOKだけど 等</p>	<p>P 8</p> <p>図 1</p>	<p>○それぞれの立場になって、考えることを伝える。</p> <p>○多くの「がん」は早期に発見すれば約9割が治ること、国は5つのがん検診を推奨していることを補足する。</p>
なか 35分	<p>2. 提示された資料をもとに、「がん」検診の受診率を高める方策について、ワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークシートに考えたことを記入する。 ・個人ワークシートを持ち寄って、グループで話し合い、発表する。 <p>〈予想される回答〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診を受けたら、税金を安くする。 ・定期検診の項目に加える ・正しい情報（検診の有効性）を発信する ・「がん」は怖い、助からないという意識を無くしていくことが大切なのではないか ・様々な治療法があるので、早ければ早いほど、医師と相談しながら、 	<p>P 9</p> <p>図 3</p>	<p>○図3を提示する。</p> <p>○国のがん検診の取組と「がん」検診を受けない理由に着目し、「がん」検診の受診率を向上させる方策を考察することを伝える。</p> <p>◆関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診についての課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 <p>(観察・ワークシート)</p>

